



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月28日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社電算システム

コード番号 3630 URL <http://www.densan-s.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 田中 靖哲

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 近藤 登

TEL 058-279-3456

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	7,220	3.5	199	△44.3	206	△42.9	139	△36.2
27年12月期第1四半期	6,977	△1.0	358	△32.6	362	△32.4	218	△28.4

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 36百万円 (△85.5%) 27年12月期第1四半期 252百万円 (△16.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	14.38	14.37
27年12月期第1四半期	22.36	22.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	31,262	7,915	25.0
27年12月期	30,064	7,974	26.2

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 7,805百万円 27年12月期 7,867百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	11.00	—	12.00	23.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,733	4.1	475	1.9	484	0.3	300	5.0	30.70
通期	31,500	8.8	1,270	21.9	1,278	19.2	810	22.7	83.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期1Q	10,033,600 株	27年12月期	10,033,600 株
② 期末自己株式数	28年12月期1Q	340,554 株	27年12月期	349,854 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期1Q	9,688,060 株	27年12月期1Q	9,760,679 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数については、電算システム従業員持株会信託が所有している当社株式(28年12月期1Q85,700株)を控除対象の自己株式に含めて算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 2「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策及び金融緩和政策により雇用や所得環境の改善傾向が続き、緩やかな回復基調で推移しておりますが、中国をはじめ新興国の景気減速等、海外景気の下振れリスクへの懸念などにより、不透明な状況となっております。

このような経営環境において、当社グループは、新しい価値の創造により、顧客に感動を、社員に夢を、株主に満足をもたらす経営理念のもと、さらなる業容の拡大と成長を志向し、継続的な営業努力と効率的な事業運営に努め、経営計画の達成を目指してまいりました。

各セグメント別の概況は以下のとおりとなっております。

(情報サービス事業)

情報サービス事業の売上高は、情報処理サービスにおいて、各種ギフト処理サービス、地方公共団体向け処理、請求書作成代行などの売上が順調に推移いたしました。S I・ソフト開発、商品販売においては、Google Appsなどクラウド関連サービスや、オートオークション業務システムなどの案件が順調に推移したものの、前年同期に計上した地方公共団体向け大型機器販売とS I・ソフト開発案件の反動減などの影響により、微減となりました。一方、利益面では、情報処理サービスにおいて、新たなギフト処理サービス立ち上げの費用がかさみ、また、S I・ソフト開発においても売上の反動減などにより減益となりました。

以上の結果、情報サービス事業の売上高は37億48百万円（前年同期比3.5%減）、営業利益は89百万円（前年同期比61.8%減）となりました。

(収納代行サービス事業)

収納代行サービス事業においては、地方自治体を含む新規取引先の獲得が順調に推移するとともに、既存取引先の通信販売業者やネットショップにおきましても個店差はあるものの、全体として昨年を上回る先が相当数多かったことから収納件数は順調に増加いたしました。また、スーパーマーケットやドラッグストア等のチェーン店舗向けの収納窓口サービスの導入店舗数も増加いたしました。

以上の結果、収納代行サービス事業の売上高は34億72百万円（前年同期比12.2%増）、営業利益は1億46百万円（前年同期比27.0%増）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は72億20百万円（前年同期比3.5%増）、利益においては、営業利益は1億99百万円（前年同期比44.3%減）、経常利益は2億6百万円（前年同期比42.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億39百万円（前年同期比36.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して11億97百万円増加し、312億62百万円となりました。これは主に、現金及び預金が8億92百万円、受取手形及び売掛金が2億54百万円減少したものの、金銭の信託が22億15百万円、その他流動資産が1億18百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して12億57百万円増加し、233億47百万円となりました。これは主に、短期借入金が2億13百万円、買掛金が1億60百万円減少したものの、収納代行預り金が15億59百万円、賞与引当金が2億55百万円増加したことによるものであります。

なお、現金及び預金、金銭の信託並びに収納代行預り金は、収納代行サービス事業に係る預り金が含まれており、預り金の入出金タイミングの影響を受けたことにより増加しております。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して59百万円減少し、79億15百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が1億6百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期通期の連結業績予想につきましては、平成28年1月29日の「平成27年12月期 決算短信」において公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,951,758	4,058,980
金銭の信託	14,830,419	17,046,339
受取手形及び売掛金	4,569,459	4,314,775
有価証券	30,000	—
商品	40,203	34,123
仕掛品	547,429	551,240
前払費用	468,049	556,574
繰延税金資産	44,198	102,636
その他	28,151	146,944
貸倒引当金	△463	△457
流動資産合計	25,509,205	26,811,157
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,329,135	1,244,071
土地	792,557	791,098
その他(純額)	652,414	702,470
有形固定資産合計	2,774,107	2,737,639
無形固定資産		
ソフトウェア	440,428	455,245
ソフトウェア仮勘定	124,609	142,350
その他	28,924	15,236
無形固定資産合計	593,961	612,833
投資その他の資産		
投資有価証券	862,726	755,870
繰延税金資産	7,174	6,429
差入保証金	290,327	290,184
その他	27,326	48,421
貸倒引当金	△235	△201
投資その他の資産合計	1,187,319	1,100,704
固定資産合計	4,555,389	4,451,177
資産合計	30,064,594	31,262,335

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,212,615	2,052,014
短期借入金	233,417	20,000
1年内返済予定の長期借入金	167,232	167,232
未払法人税等	160,100	147,349
収納代行預り金	17,147,517	18,707,268
賞与引当金	5,250	260,301
役員賞与引当金	1,000	8,162
受注損失引当金	1,800	10,489
株主優待引当金	47,000	44,045
その他	1,254,310	1,153,723
流動負債合計	21,230,244	22,570,585
固定負債		
長期借入金	342,402	297,824
繰延税金負債	62,174	15,726
役員退職慰労引当金	213,831	209,752
退職給付に係る負債	39,307	18,857
資産除去債務	12,129	12,166
その他	190,060	222,407
固定負債合計	859,905	776,734
負債合計	22,090,149	23,347,320
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,227,363	1,227,363
資本剰余金	927,219	927,219
利益剰余金	5,810,305	5,832,266
自己株式	△307,282	△285,458
株主資本合計	7,657,605	7,701,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	209,689	103,679
その他の包括利益累計額合計	209,689	103,679
非支配株主持分	107,149	109,944
純資産合計	7,974,445	7,915,014
負債純資産合計	30,064,594	31,262,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	6,977,009	7,220,907
売上原価	5,723,935	6,055,255
売上総利益	1,253,074	1,165,652
販売費及び一般管理費	894,556	965,821
営業利益	358,517	199,830
営業外収益		
受取利息	382	384
受取配当金	1,151	—
受取手数料	425	1,956
為替差益	2,066	4,883
助成金収入	600	—
未払配当金除斥益	142	223
その他	518	229
営業外収益合計	5,286	7,677
営業外費用		
支払利息	845	487
持分法による投資損失	717	247
営業外費用合計	1,563	735
経常利益	362,240	206,773
特別利益		
補助金収入	—	112,481
特別利益合計	—	112,481
特別損失		
固定資産圧縮損	—	92,572
特別損失合計	—	92,572
税金等調整前四半期純利益	362,240	226,681
法人税、住民税及び事業税	169,455	138,424
法人税等調整額	△30,918	△54,293
法人税等合計	138,536	84,131
四半期純利益	223,703	142,550
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,425	3,244
親会社株主に帰属する四半期純利益	218,278	139,305

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)
四半期純利益	223,703	142,550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,596	△106,010
繰延ヘッジ損益	△243	—
その他の包括利益合計	28,352	△106,010
四半期包括利益	252,056	36,539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	246,631	33,295
非支配株主に係る四半期包括利益	5,425	3,244

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報サービス 事業	収納代行サ ビス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,883,167	3,093,842	6,977,009	—	6,977,009
セグメント間の内部売上 高又は振替高	10,828	—	10,828	△10,828	—
計	3,893,995	3,093,842	6,987,837	△10,828	6,977,009
セグメント利益	235,003	115,677	350,681	7,836	358,517

(注) 1. セグメント利益の調整額7,836千円は、報告セグメントが負担する管理部門費の配賦差額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報サービス 事業	収納代行サ ビス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,748,099	3,472,808	7,220,907	—	7,220,907
セグメント間の内部売上 高又は振替高	9,118	3	9,121	△9,121	—
計	3,757,217	3,472,811	7,230,029	△9,121	7,220,907
セグメント利益	89,866	146,893	236,759	△36,929	199,830

(注) 1. セグメント利益の調整額△36,929千円は、報告セグメントが負担する管理部門費の配賦差額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。